

2010年12月2日  
世界自動車調査月報編集長 安田晃史

## 2010年世界自動車販売は7,230万台と記録更新へ

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当社の調査・業務出版業務にご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、当社では「FOURIN 世界自動車調査月報 2010年12月号(2010年12月5日発刊)」にて、『2010/2011年世界自動車市場』をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内を申し上げます。

- 世界自動車販売台数は2010年に前年比11.7%増の7,230万台となる見込み
- 新興市場の成長と、西欧各国や日本で実施された新車購入支援策の影響で世界市場は過去最高水準へ
- 中国、インドなどの自動車販売台数拡大で世界市場に占める新興国比率が過半数に
- 2011年は鈍化しながらも世界市場の拡大基調が続く見通し

世界79ヵ国の自動車販売台数は2010年に前年比11.7%増の7,227.9万台となる見通しです。2008年後半から2009年前半にかけて世界金融危機の影響で自動車市場は急激に冷え込みました。しかし中国、インドの自動車販売が予想を上回るペースで拡大し、西欧の一部の国や日本で新車購入支援策により一時的に販売が伸びた影響で、世界市場は危機前の2007年の7,142.6万台を超える過去最高水準となる見込みです。

廃車買い替えインセンティブや各種減税などの新車購入支援策が2010年まで続いた英国、フランスなどの西欧各国と日本では、2009年後半から2010年にかけて乗用車販売が増加し、米国では2009年に2割強減と落ち込んだ反動から2010年に前年比1割増の1,200万台規模にまで回復する見通しです。また、2009年に自動車販売台数で世界1位となった中国は、2010年に26%増の1,700万台強まで増える見込みで、ブラジル、インドも市場拡大が続くなど、新興国が世界自動車市場回復の牽引役となっています。2009年に市場が半減したロシアも、政府による国産車購入支援強化によって2010年に200万台規模まで回復する見込みです。これら新興国市場の急成長によって、世界自動車市場に占める新興国の比率は、世界経済危機前の2007年の39%から2010年には51%まで拡大し、過半数を占めることになる見通しです。

2011年の世界自動車市場は、新興国市場の成長が日本や西欧市場の縮小を上回ると期待され、2010年から増加基調が続く見通しです。西欧や日本では2010年まで実施された購入支援策の反動で2011年に自動車市場の縮小が見込まれます。しかしながら、BRICsやASEANなどの新興国では全体的に鈍化しながらも市場成長が続き、北米市場も緩やかな回復が続くと予想、自動車販売台数は世界全体で2011年に前年を上回る7,800万台となる見通しです。

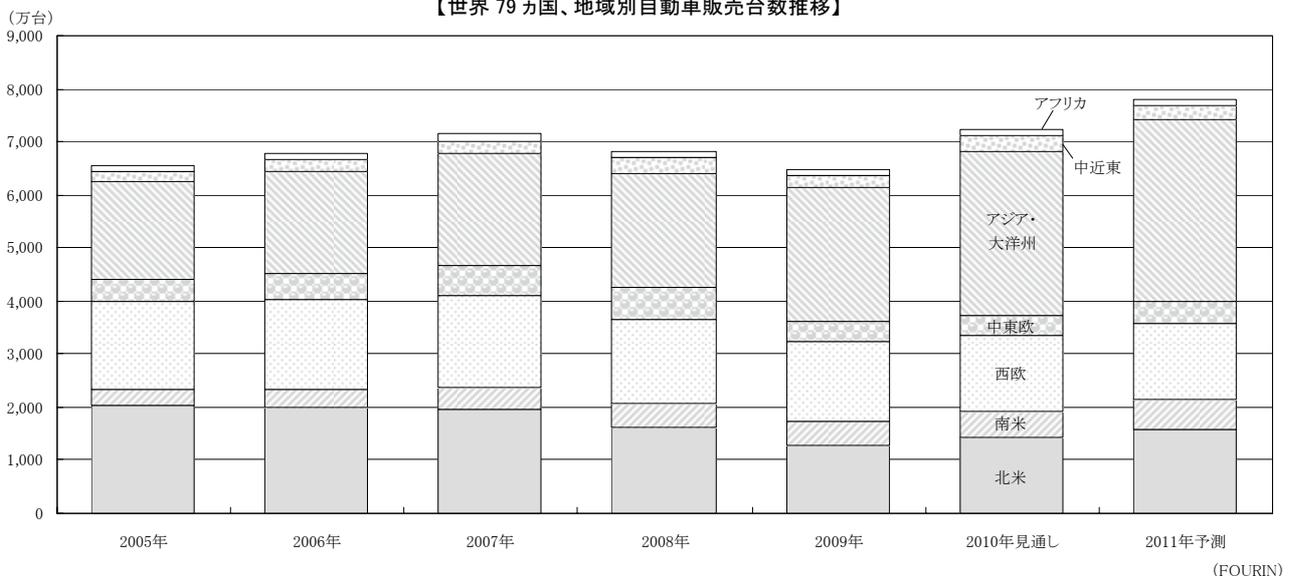
ご参考までに、『2010/2011年世界自動車市場』レポートの1ページ目を添付いたしました。全レポートをご覧になりたい場合、またはご不明な点やご質問がありましたら、「FOURIN 世界自動車調査月報」編集長の安田 (TEL : 052-789-1136、FAX : 052-789-0966、E-mail : a.yasuda@fourin.com) までご連絡下さい。

## 2010年世界自動車販売は新興市場成長と購入支援策効果で 7,230万台と記録更新へ、2011年は7,800万台へ

世界79カ国の自動車販売台数は2010年に前年比11.7%増の7,227.9万台となる見通しである。2008年後半から2009年前半にかけて世界金融危機の影響で自動車市場は急激に冷え込んだ。しかし中国、インドの自動車販売が予想を上回るペースで拡大し、新車購入支援策により西欧一部各国や日本で販売が一時的に伸びた影響で、世界市場は危機前の2007年の7,142.6万台を超える過去最高水準となる。

廃車買い替えインセンティブや各種減税などの新車購入支援策が2010年まで続いた英国、フランスなどの西欧各国と日本では、2009年後半から2010年にかけて乗用車販売が増加、米国は2009年に2割強減と落ち込んだ反動から2010年に前年比1割増の1,200万台規模にまで回復する見通しである。一方、2009年に自動車販売台数世界1位となった中国は、2010年に26%増の1,700万台強まで増える見込みで、ブラジル、インドも市場拡大が続いており、世界自動車販売回復の牽引役となった。また2009年に市場が半減したロシアも政府による国産車購入支援強化で2010年に200万台規模まで回復している。

【世界79カ国、地域別自動車販売台数推移】



【世界79カ国、自動車販売台数(2008/2009年実績、2010年見通し、2011年予測)】

(単位:台)

国	2008年	(前年比)	2009年	(前年比)	2010年見通し	(前年比)	2011年予測	(前年比)
北米	16,331,411	(▼15.8%)	12,936,489	(▼20.8%)	14,306,000	(10.6%)	15,925,000	(11.3%)
南米	4,496,172	(6.7%)	4,384,646	(▼2.5%)	5,046,600	(15.1%)	5,446,800	(7.9%)
西欧	15,765,592	(▼8.6%)	15,191,388	(▼3.6%)	14,164,900	(▼6.8%)	14,286,900	(0.9%)
中東欧	6,053,616	(6.1%)	3,457,857	(▼42.9%)	3,824,970	(10.6%)	4,373,900	(14.4%)
アジア・大洋州	21,427,823	(1.4%)	25,485,880	(18.9%)	30,910,000	(21.3%)	33,975,000	(9.9%)
中近東	2,863,339	(17.6%)	2,275,700	(▼20.5%)	2,924,600	(28.5%)	2,798,700	(▼4.3%)
アフリカ	1,217,242	(▼4.5%)	997,864	(▼18.0%)	1,101,500	(10.4%)	1,257,000	(14.1%)
合計	68,155,195	(▼4.6%)	64,729,824	(▼5.0%)	72,278,570	(11.7%)	78,063,300	(8.0%)

・2008/2009年実績は各国自工会およびそれに準ずる機関のデータ、2010年見通し、2011年予測はFOURINによる。今回より対象国にウズベキスタン、イエメンを追加した。

・北米4カ国:米国、カナダ、メキシコ、プエルトリコ。

・中南米10カ国:ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、コロンビア、エクアドル、チリ、ペルー、ウルグアイ、ボリビア、パラグアイ。

・西欧18カ国:ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、スウェーデン、ギリシャ、ポルトガル、アイルランド、デンマーク、フィンランド、ルクセンブルグ、スイス、ノルウェー、アイスランド。

・中東欧16カ国:ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア、ルーマニア、スロベニア、ブルガリア、キプロス、ラトビア、エストニア、リトアニア、クロアチア、セルビア、ウクライナ、ロシア、トルコ。

・アジア・大洋州16カ国:日本、中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム、ブルネイ、インド、パキスタン、ウズベキスタン、オーストラリア、ニュージーランド。

・中近東9カ国:イラン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェート、イスラエル、オマーン、カタール、バーレーン、イエメン。

・アフリカ6カ国:南アフリカ、エジプト、モロッコ、アルジェリア、チュニジア、ケニア。

(FOURIN)